2024年度第1四半期決算説明会資料

2024年8月6日

KAJIMA GROUP

- 2024年度第1四半期の決算概要について説明します。

1. 決算サマリー P.3

2. 業績ハイライト P.5

3. 事業別の概況 P.7

4. トピックス P.13

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 2024年度第1四半期の決算のサマリー、業績ハイライト、事業別の概況及びトピックスを説明します。

決算のポイント

2024年度第1四半期決算

- **連結売上高は前年同期比5.1%増収、営業利益は1.5%増益**
  - 連結業績は、海外関係会社の増収増益を主因に増収、営業利益は増益
    四半期純利益は、海外開発事業における営業外損益の低下などにより、減益
  - 単体業績は、建築大型工事の施工量が少ない時期にあたることなどから、減収減益
    売上総利益率は、土木・建築ともに前年同期から若干改善
  - 海外関係会社は、建設事業の堅調な進捗と米国の開発物件売却の増加により、増収増益
  - 売上高、利益ともに、通期予想に対して順調に進捗しており、予想は変更せず
- **国内、海外ともに建設需要は堅調であり、複数の大型工事を受注**
  - 国内の建設需要は強い状況が継続し、
    土木ではインフラ関連、建築では再開発事業、生産施設等の重点分野における工事を受注
  - 海外では、米国や大洋州において複数の大型工事を受注

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 第1四半期決算のポイントについてです。

- 連結業績は、海外関係会社業績がけん引し、前年同期から5.1%の増収となり、営業利益は1.5%の増益となりました。
  四半期純利益は、海外開発事業における営業外損益の低下などにより、減益となりました。
- 単体業績は、建築大型工事の施工量が少ない時期にあたることから、減収減益となりましたが、売上総利益率は、土木、建築ともに前年同期から若干改善しました。
- 海外関係会社は、建設事業が堅調に進捗したことに加え、米国開発事業における物件売却が増加したことから、増収増益となりました。
- 売上高、利益については、通期予想に対して順調に進捗しており、期首時点から変更していません。

- 建設受注高は、国内・海外の建設需要は堅調に推移しており、複数の大型工事を受注しています。
- 国内では、インフラ関連や再開発事業、生産施設などの重点分野における工事を受注しました。
- また、海外では、米国や大洋州において、複数の大型工事を受注しました。

主要受注工事

2024年度第1四半期における主要受注工事

種別	工事名称	発注者	工事場所
土木	道東自動車道東占冠トンネル工事	東日本高速道路株式会社 北海道支社	北海道
土木	７号線品川工区土木工事	東京地下鉄株式会社	東京
建築	（仮称）横浜市中区海岸通計画 （Ａ－１地区）新築工事	中区海岸通デベロップメント 特定目的会社	神奈川
建築	スタンレー電気（株）技術研究所 再構築　建て替え工事	スタンレー電気株式会社	神奈川
海外 関係会社	ストラアブ医療センター　駐車場棟※	ストラアブ医療センター	米国

※はカジマ ユー エス エー インコーポレーテッドの受注工事

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 2024年度第1四半期3か月間の主要受注工事です。
- 単体土木事業では、「道東自動車道東占冠（ひがししむかっぷ）トンネル工事」や地下鉄工事である「7号線品川工区土木工事」などを受注しました。
- 単体建築事業では、「（仮称）横浜市中区海岸通計画（A-1地区）新築工事」や「スタンレー電気（株）技術研究所再構築 建て替え工事」などを受注しました。記載した工事以外でも、発電所関連や生産施設の大型工事を受注しています。
- 海外関係会社では、「ストラアブ医療センター 駐車場棟」を受注したほか、米国や大洋州において複数の大型工事を受注しました。

2024年度第1四半期 決算実績

海外関係会社の増収増益を主因に、連結業績は増収、営業増益

※ 為替レートは以下のレートを適用
2023年度第1四半期実績は2023年3月末レート
2024年度第1四半期実績は2024年3月末レート

2024年度第1四半期 決算実績ハイライト

	連結			単体		国内関係会社		海外関係会社	
	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	前年同期比	2024年度 第1四半期	前年同期比	2024年度 第1四半期	前年同期比	2024年度 第1四半期	前年同期比
売上高	5,834	6,132	+297	3,307	△478	763	△22	2,310	+766
営業利益	248	252	+3	188	△40	25	△2	41	+48
経常利益	291	259	△31	260	△43	35	△1	17	+17
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	174	△19	195	△27	26	△0	6	+13
建設受注高	8,018	5,548	△2,470	3,409	△1,030	551	+27	1,793	△1,466
（為替レート）単位:US$	¥133.53	¥151.41						¥151.41	

- 単体は、建設事業の売上総利益率が前年同期を上回ったものの、建築事業の売上高が減少したことを主因に減収減益
- 海外関係会社は、手持ち工事の順調な進捗や米国における建設会社買収の寄与に加え、
米国開発事業における物件売却の増加などにより、増収増益
- 連結の営業利益は、海外関係会社の増益を主因に前年同期を上回った
- 建設受注高は、国内・海外ともに大型工事を複数受注しているが、高水準であった前年同期を下回った

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 第1四半期決算のハイライトです。
- 第1四半期は、海外関係会社の増収増益を主因に、連結業績は増収となり、営業利益は増益となりました。
- 単体業績は、建設事業の売上総利益率は前年同期を上回りましたが、建築事業の売上高が減少したことを主因に、減収減益となりました。
- 海外関係会社は、手持ち工事が順調に進捗しており、米国における建設会社の買収や、米国開発事業の物件売却の増加などにより、増収増益となりました。
- 建設受注高は、国内、海外ともに大型工事を複数受注しましたが、高水準であった前年同期を下回りました。

2024年度通期予想

売上高・利益の通期予想は変更なし

※ 為替レートは以下のレートを適用
2024年度第1四半期実績は2024年3月末レート
2024年度通期予想は2023年12月末レート（期首レート）

2024年度 通期予想ハイライト

	連結			単体		国内関係会社		海外関係会社	
	2024年度 第1四半期	2024年度 通期予想	進捗率	2024年度 第1四半期	2024年度 通期予想	2024年度 第1四半期	2024年度 通期予想	2024年度 第1四半期	2024年度 通期予想
売上高	6,132	27,800	22.1%	3,307	14,700	763	3,600	2,310	10,800
営業利益	252	1,320	19.1%	188	900	25	170	41	260
経常利益	259	1,370	18.9%	260	1,010	35	210	17	250
親会社株主に帰属する四半期純利益	174	1,050	16.6%	195	800	26	150	6	200
建設受注高	5,548	21,800	25.4%	3,409	13,600	551	2,000	1,793	7,000
（為替レート）単位:US$	¥151.41	¥141.83						¥151.41	¥141.83

- 2024年5月14日に発表した売上高、利益の通期業績予想は変更せず
  連結の建設受注高予想は、米国で買収した建設会社の繰越工事高（1,600億円程度）を除いた 2兆1,800億円に修正
- 単体・国内関係会社は通期予想に対して順調に進捗
- 海外関係会社は、下期を中心とする開発物件の売却などにより、通期予想を達成する見通し

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 2024年度の通期予想についてです。

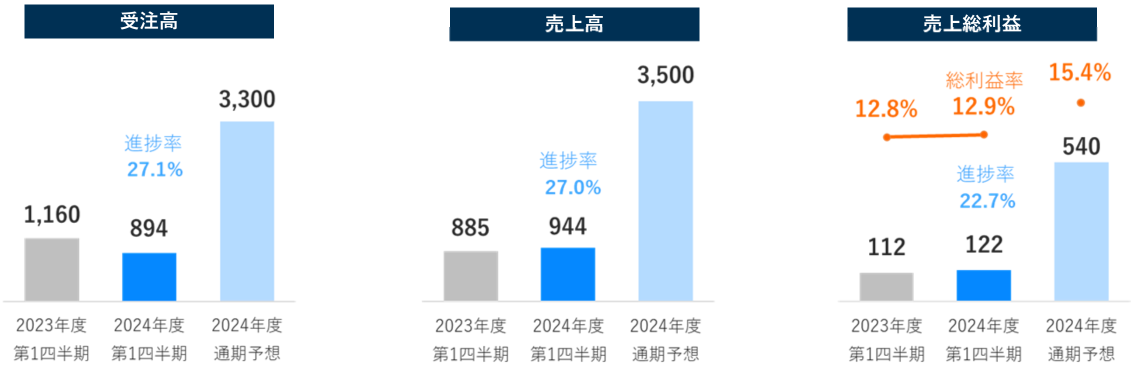
- 売上高、利益は、第1四半期決算が概ね計画どおりに進捗していることから、5月14日に発表した予想数値を変更せず、連結売上高は2兆7,800億円、当期純利益は1,050億円を見込んでいます。

- 建設受注高については、米国で買収した建設会社の繰越工事高1,600億円程度を当期の受注高から除き、連結及び海外関係会社の建設受注高をそれぞれ2兆1,800億円、7,000億円に修正しました。

- 事業別では、単体、国内関係会社は通期予想に対して順調に進捗しており、海外関係会社は、下期を中心とする開発物件の売却などにより、通期予想の達成を見込んでいます。

事業別の概況｜土木事業（単体）

単位：億円



2024年度第1四半期

- 受注高は、前年同期を下回ったものの、複数の大型工事を受注しており、通期予想に対しては順調な進捗
- 売上高は、大型工事を中心に施工中工事が順調に進捗し、増収となった
- 売上総利益は、増収に加え、売上総利益率が前年同期から若干改善したことにより、増益となった
- 売上総利益率は通期予想を下回るものの、期末に向けて増加する竣工工事などの損益改善により予想利益率の達成を見込む

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 続いて、事業別の概況を説明します。最初に、単体の土木事業です。

- 受注高は、高水準であった前年同期を下回りましたが、複数の大型工事を受注したことにより894億円となり、通期予想に対して順調に進捗しています。

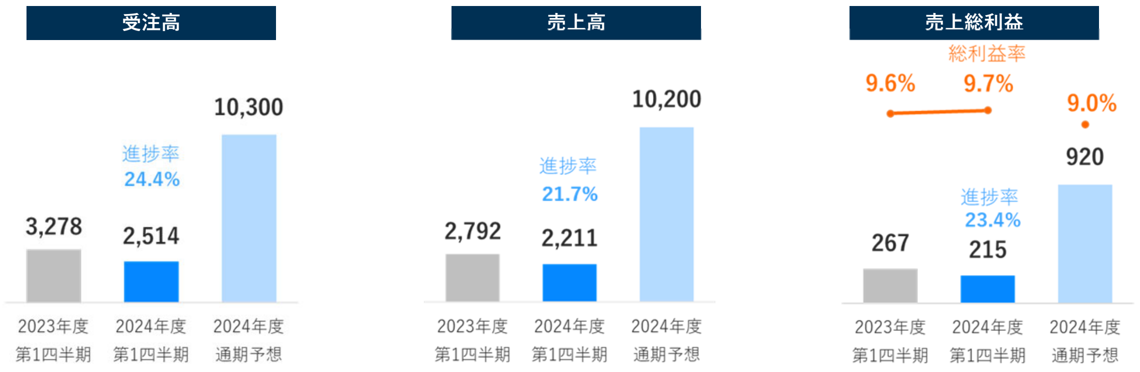
- 売上高は、大型工事を中心とする施工中工事の順調な進捗などにより、前年同期比59億円増収の944億円となりました。

- 売上総利益は、増収に加えて、売上総利益率が前年同期から若干改善したことにより、前年同期比9億円増益の122億円となりました。

- 売上総利益率は、通期予想を下回っていますが、期末に向けて増加する竣工工事などにおける損益改善を見込んでいます。

事業別の概況｜建築事業（単体）

単位：億円



2024年度第1四半期

- 受注高は、高水準であった前年同期を下回ったものの、複数の大型工事を着実に受注しており、通期予想に対して順調に進捗
- 売上高は、前年同期と比較して初期段階の大型工事が多いことから、減収となった
- 売上総利益率は、通期予想を上回っており、順調に進捗している

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 単体の建築事業です。

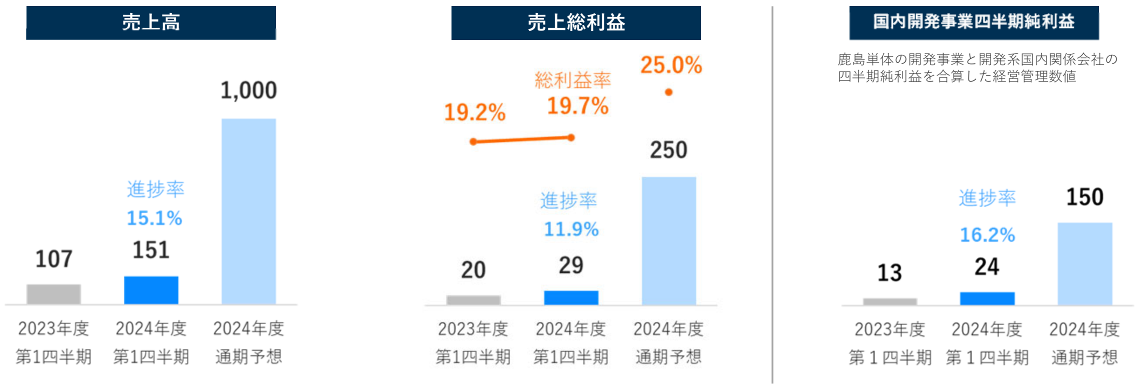
- 受注高は、高水準であった前年同期を下回りましたが、再開発事業や生産施設など複数の大型工事を受注したことにより2,514億円となり、通期予想に対して順調に進捗しています。

- 売上高は、前年同期と比較して、施工初期段階の大型工事が多いことから、前年同期比減収の2,211億円となりました。

- 売上総利益は、減収に伴って、前年同期比減益の215億円となりましたが、売上総利益率は、通期予想を上回る水準で推移しており、順調に進捗しています。

事業別の概況｜開発事業等（単体）

単位：億円



2024年度第1四半期

- 売上高・売上総利益ともに、分譲マンションなどを売却・引渡したことにより、増収増益となった
- 売上高・利益ともに、オフィス案件や大型分譲マンションの引渡しを第4四半期に予定しており、通期予想を達成する見込み
- 単体開発事業と開発系国内関係会社の当期純利益の合算値（国内開発事業の経営管理数値）は、
  単体開発事業の販売物件の引渡しが寄与し、通期予想150億円の達成を見込む

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 単体の開発事業等です。

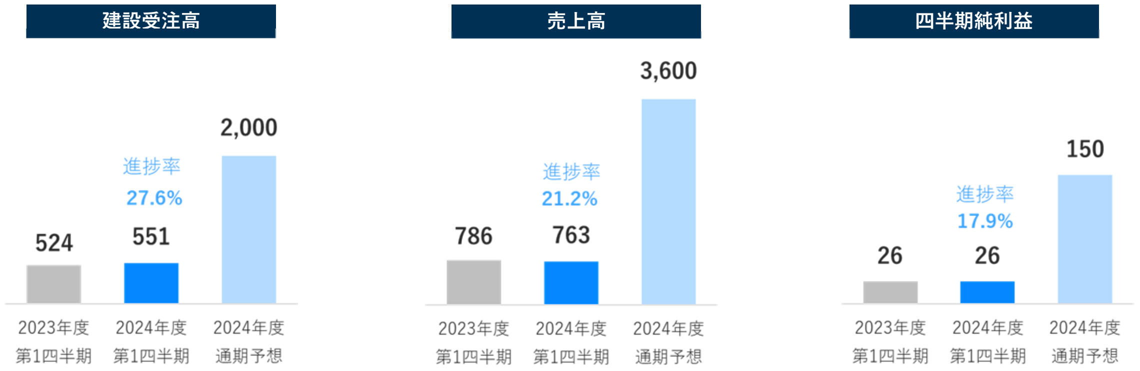
- 売上高、売上総利益は、分譲マンションなどの売却･引渡しにより、前年同期比増収増益となりました。

- 第4四半期にオフィス案件や大型分譲マンションの引渡しを予定しており、通期予想の達成を見込んでいます。

- 単体開発事業と開発系国内関係会社の当期純利益を合算した経営管理数値は、単体開発事業の販売物件の引渡しなどにより、通期予想150億円の達成を見込んでいます。

事業別の概況｜国内関係会社

単位：億円



2024年度第1四半期

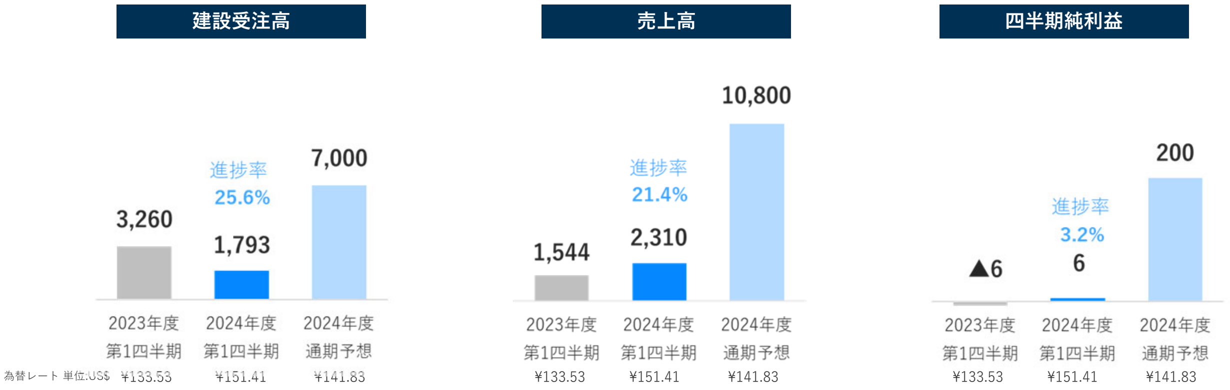
- 建設受注高、売上高、四半期純利益ともに前年同期と概ね同水準となった
- 売上高、四半期純利益は通期予想に対しての進捗が低位であるものの、
  例年と同様に、第2四半期以降の改善により通期予想の達成を見込む

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 国内関係会社です。
- 建設受注高、売上高、四半期純利益ともに、前年同期と概ね同水準となりました。
- 売上高、利益は、例年と同様に、第2四半期以降の改善により、通期予想の達成を見込んでいます。

事業別の概況｜海外関係会社

単位：億円



2024年度第1四半期

- 建設受注高は高水準の前年同期から減少したものの、売上高は米国における建設会社の買収が寄与し、前年同期を上回った
- 四半期純利益は、建設事業が堅調に推移し、米国開発事業において流通倉庫や賃貸集合住宅を売却したことなどにより、増益となった
- 各事業地域において、下期を中心に複数の物件売却を予定しているため、売上高・利益は期末に向けて増加し、通期予想の達成を見込む

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 海外関係会社です。

- 建設受注高は、高水準であった前年同期を下回りましたが、米国や大洋州において複数の大型工事を受注したことにより1,793億円となりました。

- 売上高は、建設事業、開発事業ともに増加し、前年同期比766億円増収の2,310億円となりました。

- 四半期純利益は、建設事業の増益に加えて、米国開発事業における流通倉庫や賃貸集合住宅の売却などより、前年同期比13億円増益の6億円となりました。

- 売上高、利益は、各事業地域において、下期を中心に複数の物件売却を予定しており、通期予想の達成を見込んでいます。

事業別の概況｜海外関係会社（建設等・開発事業別）

海外関係会社 建設等・開発事業別 業績ハイライト

※事業別の数値については内部取引調整前の管理数値

※ 為替レートは以下のレートを適用
2023年度第1四半期実績は2023年3月末レート
2024年度第1四半期実績は2024年3月末レート
2024年度通期予想は2023年12月末レート（期首レート）

	建設事業等				開発事業			
	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	前年同期比	2024年度 通期予想	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	前年同期比	2024年度 通期予想
売上高	1,496	2,042	+546	9,319	72	290	+218	1,716
売上総利益	58	75	+17	440	26	85	+58	390
	3.9%	3.7%	△0.2 pt	4.7%	36.9%	29.4%	△7.5 pt	22.7%
営業利益	0	△0	△0	74	△3	43	+47	212
営業外損益	5	8	+2	4	9	△22	△32	22
（開発事業出資損益）	(0)	(0)	ー	(0)	(8)	2	(△6)	(54)
経常利益	5	8	+2	78	6	20	+14	234
特別損益	0	1	+1	0	△0	2	+2	42
親会社株主に帰属する当期純利益	3	7	+3	51	△0	8	+8	192
（為替レート）単位:US$	¥133.53	¥151.41		¥141.83	¥133.53	¥151.41		¥141.83

- 建設事業等は、施工が順調に進んだことに加え、米国における建設会社の買収が寄与し大幅な増収となった
- 開発事業は、米国における流通倉庫1件、賃貸集合住宅1件の売却を主因に、増収増益となった

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 海外関係会社の事業別の業績について説明します。

- 建設事業等は、各事業地域における施工が順調に進んだことに加えて、米国における建設会社の買収が寄与し、大幅な増収となり利益も増加しました。

- 開発事業は、米国において流通倉庫を1件、賃貸集合住宅を1件売却したことを主因に、増収増益となりました。

トピックス

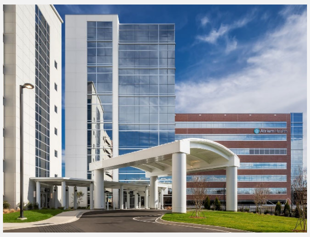
米国において中堅建設会社を買収

- **医療・教育分野に強みを持つ Rodgers Builders社を買収**
  - 米国南東部を事業地域とし、年間売上高は800億円程度（過去5年平均）
  - 買収により、繰越工事高が1,600億円程度増加
  - 米国建設事業の成長戦略の一環として、安定した需要が見込める医療、教育分野を強化

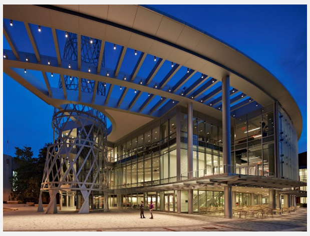
RODGERS
Our Passion is Building®

会社名　：Rodgers Builders, Inc.
創業　：1963年
従業員数　：約280名
本社　：ノースカロライナ州シャーロット

【主な施工実績】



Atrium Health Palmetto Bed Tower and Parking Deck



North Carolina State University Talley Student Union

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.

- 最後に、米国における中堅建設会社の買収について説明します。

- 第1四半期に、海外関係会社であるKUSAを通じて、医療、教育分野に強みを持つRodgers Builders社（ロジャーズ・ビルダーズ社）を買収しました。

- 同社は、米国南東部を事業地域として、年間800億円程度の売上高があり、買収により、当社グループの繰越工事高は1,600億円程度増加しました。

- 今回の買収は、米国建設事業の成長戦略の一環として実施したものであり、安定した需要が見込める医療、教育分野の強化を目的としています。

KAJIMA GROUP

お問合せ先

鹿島建設株式会社 経営企画部
コーポレート・コミュニケーショングループ
E-Mail ： ir@ml.kajima.com

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

Copyright © 2024 KAJIMA CORPORATION All Rights Reserved.